

令和2年度 前期講座プログラムの作成について（案）

1 協議趣旨について

様々な機関等で講座が開設されている中で、特色ある「にいがた市民大学」として市民の方に継続して受講してもらうため、実施方法や講座テーマについてこのたび検討を行うもの。

人口減少社会や高齢化など、市が抱える様々な課題や政策ビジョンを重視し、市民の方々への学びの機会の提供と活用（学びの循環）を支援することで、地域全体の課題解決と活性化の一助となる様、できる範囲で様々な学びの要望に応える方向としたい。

<趣旨背景>

- ・ 講座対象者を広く一般市民としていること。（新潟市に在勤・在学も含む）
- ・ 市民大学の受講者層は、受講した講座分野についてまったく知らない方から、既に精通し、さらに深めたいという方までいること。
- ・ 全講座において非常に満足から期待外れという意見があること。
- ・ 専門性を求めるものや系統だった講座組み立ての希望から、身近な生活に密着したわかり易い講座、仕事に生かせる講座まで希望があること。

◇現在の「にいがた市民大学の特色」について（継続）◇

- ・ 県内外の著名な講師陣による講義
- ・ 前期講座と後期ゼミナールの2部構成
- ・ 後期ゼミナール終了後の自主グループ化の支援

2 目指す方向について

「受講者の受けやすい環境づくりと、関心が高い講座テーマの設定」

① 受講者が受けやすい環境づくり

10回講座と短期講座を開設し、講座の選択肢を増やす。全体の基本講座は5講座※で変更なしとする。

※基本講座 5講座

運営委員提案講座 4講座（市民提案講座含む）、大学コンソーシアム連携講座 1講座

<講座設定例>

- ・ 従来どおり前期講座については10回講座を開設。（前期講座の学びを深めるため、後期ゼミナールの開設も可能）
- ・ 勤務や子育てなどにより、10回講座を負担とする方向けに短期講座を開設。
- ・ テーマや対象とする受講者層によって、日中の講座を一部開設。

② 講座テーマ検討の際の5つのポイント（アンケートから見えてきた市民ニーズ）

- ・ 課題性及び話題性（最新または継続的な社会問題・社会現象に関するもの）
- ・ 宣伝性（新潟の持つ良さをPRするもの・新潟の新たな発見となるもの）
- ・ 教育性（次世代を育てることや社会貢献につながるもの）
- ・ 娯楽性（学術的な内容を織り込みつつ、視察や実地体験、五感に触れるもの）
- ・ 受講層（対象とする受講者層 市民全般もしくは限定）